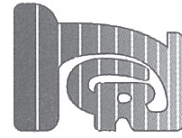


フィリア・レター

～真の友人からの手紙～



発行：中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明 1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.johas.go.jp/>



副院長就任のご挨拶

副院長 今田 広子

当院をご利用いただいております、患者さん及びご家族の皆様におかれましては、日頃より当院の運営にご協力いただき感謝申し上げます。

この度、4月1日付けで副院長を拝命いたしました。これまでの看護部長職との兼任となります。Withコロナの時代の病院幹部として求められる、柔軟な判断や、タイムリーな意思決定ができるよう精進していく所存です。

昨年からのCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)の流行により、医療の現場は、その対応に翻弄されています。この2月には、盤石であったはずの感染管理にゆらぎが生じ、クラスターを発生させてしまい、皆様に大きなご心配と、ご迷惑をおかけしました。その教訓から、ご入院いただく全ての患者さんへのPCR検査を実施することといたしました。また、引き続き、入院患者さんへのご面会を制限させていただいております。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

6月より、愛知県の実情により、コロナ対

応病床を拡大し、地域の皆様が安心して過ごすことのできるよう、対応しております。ワクチン接種も、通院中の患者さんから予約制で平日午後に対応しております。

さて、ここ数年、地域包括ケアという言葉が、医療介護の世界では日常的に使われています。病院完結型医療から地域完結型医療にシフトし、地域と医療機関ではシームレスな連携が重要となります。「ほぼ在宅、時々入院」と言われるように、在院日数は短縮しています。

当院では、入退院支援センターを充実させ、医師、看護師、MSW、薬剤師、栄養士を配置し、チームで入院される患者さんをサポートする体制をとっております。入院前から、入院中に行われる治療について、チームでご説明し、あらかじめ患者さんやご家族が、ご理解し納得され、安心して入院していただくことを目指しております。また、入院前から、普段の生活についてお聞きし、退院後に懸念される事柄についても、多職種で検討し、治療後を見据えて、早期に地域の方々との連携を図っております。今後ともよろしくお願いたします。

今月号のお知らせ

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| ①副院長就任のご挨拶……………副院長 今田 広子 | ……………がん化学療法看護認定看護師 久保 治奈 |
| ②新任部長挨拶……………呼吸器内科部長 竹山 佳宏 | ④病院からのお知らせ |
| ③認定看護師紹介～がん治療について～ | 病院の理念・当院の基本方針、編集後記 |



医師



新任部長挨拶

呼吸器内科部長 竹山 佳宏

令和3年4月1日
付けで前任の豊橋市民
病院より当院の呼吸器内科
に赴任しました竹山佳宏と申します。

高齢化社会に伴い、日本人のおよそ3人に1人ががんになるといわれる時代ですが、肺がんに関しては、年間約7万人が死亡する、がんの中で最も死亡数が多く、治療が難しい病気とされています。肺がんの原因の約70%はタバコと言われていますが、喫煙習慣が全くない方でも発症することがあり、注意が必要です。発見動機としては、検診や他の病気で胸部エックス線やCTを撮ったときに偶然発見されるケースが最も多いです。自覚症状が出現した場合には、病気がかなり進行していることが多く、症状がなくとも定期検診を受ける習慣をつけるべきと考えます。また、タバコは病気の発生にも治療にも悪影響を及ぼすため、病気の予防にはまず禁煙が肝要となります。

肺がんの治療法としては、手術、放射線治療、薬物療法があります。この中で根治を目指すのは手術と、放射線治療と薬物療法を組み合わせた治療になりますが、肺以外の場所に病気が転移している場合には、残念なが

ら根治的な治療は適応外となり、その際には薬物療法によって、なるべく病気の進行を抑え、少しでも寿命を延ばすことが目的となります。一昔前までは薬物療法というと、がん細胞を直接殺す殺細胞性抗がん剤が治療の中心であり、副作用が強くなる割には効果が十分得られるとは言いがたいものであったのですが、ここ数十年で薬物療法は格段に進歩し、分子標的治療薬、免疫療法といった新たな薬剤や治療法の登場で、人によっては劇的な腫瘍縮小効果と延命効果が得られています。ただ、全ての方がこの治療を受けられる訳ではなく、組織型(小細胞肺がん、非小細胞肺がん(扁平上皮がん、非扁平上皮がん))や特定の遺伝子変異があるかどうかによります。がんの組織を採取して、組織型、遺伝子変異の有無を調べることによって、使える薬が異なるということです。

肺がんの治療については、日本肺癌学会から出されているガイドラインでほぼ標準化されておりますが、年齢、合併症、全身状態などから標準的な治療の実施が困難な例もあり、個々の治療については、主治医と患者さんおよびそのご家族と十分に話し合った上で、決定していくことが重要となります。



看護師



認定看護師紹介 ～がん治療について～

がん化学療法看護認定看護師 久保 治奈

認定看護師とは、日本看護協会が認定した看護師を指します。当院には14分野22名の認定看護師がいます。

私はがん化学療法看護認定看護師として、7東病棟で勤務しています。がん化学療法とは、がん治療で使用する薬剤、抗がん剤のことです。

日本では、がんは昭和51年より死因の第1位であり、生涯のうちに2人に1人が罹患する時代と言われています。現在、がんの薬物治療は、副作用を抑える支持療法の進歩により、外来で通院しながら行う事が増えてきました。

がんに対する薬物治療には、皆さんが想像される吐き気や脱毛といった副作用のいわゆる「抗がん剤」を用いた治療だけでなく、がんの目印を攻撃する薬(分子標的薬)や、オプジーボに代表される免疫を高める薬(免疫チェックポイント阻害薬)を用いた治療などがあります。そして、様々な薬を組み合わせる治療することも多くなっています。そ

のため、治療によって出現する副作用も様々なものがあります。副作用を予測して、予防行動をとること、生活を工夫することにより副作用に対応できます。

私は、患者さんが、がんと診断され、治療の選択を迫られた時に、不安や心配事が解決できるような情報提供をすること、治療と生活が両立できるように患者さん自身で副作用の予防や対処行動がとれるような指導をすることにより、がん患者さんの治療の支えになりたいと考えています。

現在、7東病棟では、がん薬物治療を行う患者さんが安全に治療を受けられるように、投与管理を行い、看護スタッフへの教育を行っています。初めて治療を受けられる方も多く、不安を解消して、患者さんが安心して外来治療に移行できるように支援しています。

がんの薬物治療に関する不安や、困っていることなどがありましたらいつでもご相談ください。

病院からのお知らせ

★書籍を刊行しました!★

中部ろうさい病院が監修した本「決め手はチームワーク医療」を刊行しました。

この本では、当院で実践している診療を紹介し、高度な医療や最新の治療についても、医師、看護師及び医療スタッフが、写真やイラストを用いてやさしく解説しています。

名古屋市内の主要書店(三省堂本店、ジユンク堂、未来屋書店、日々野泰文堂など)、病院内売店及びamazonで販売しています。

労災病院グループ初の出版となります。ぜひお手に取ってご覧ください。



患者さんに・ご家族に・地域に寄り添う
中部ろうさい病院

医師や看護師、
コメディカルスタッフが
やさしく解説! 本体 1,100円(税込)

決め手は
チームワーク医療



当院の理念

納得、安心、そして未来へ

当院の基本方針

- ・医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供

～ 編集後記 ～

中部ろうさい病院は、今年度も、患者さんに安心していただける医療の提供に努めて参ります。

当院では、新型コロナウイルス感染症への対策として、出入口を一方通行とし、患者さん及びご家族の皆様に来院時の検温と手指消毒へのご協力をお願いしております。

ご不便をおかけして申し訳ございませんが、院内感染防止のために引き続きご協力をお願いいたします。